

株式会社龍森に対する 「GHG見える化インパクトファイナンス」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、株式会社龍森（代表取締役社長：朝比奈 正尋、以下「龍森」）に対し、「GHG見える化インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、GHG排出量の可視化・削減プラットフォーム「e-dash」を提供するe-dash株式会社（代表取締役：山崎 冬馬、以下「e-dash」）とともに、中堅・中小企業のお客さまに対し脱炭素への取り組みの第1歩から伴走支援する商品です。本商品の特徴は、①「e-dash」を活用した簡便で正確な排出量の見える化と削減目標の設定、②融資期間中のモニタリングを通じた削減目標達成の方策検討により、お客さまをサポートすることです。みずほ銀行は、本商品の提供を通じて、中堅・中小企業のお客さまの脱炭素化、およびそれに向けた事業の強化・転換を支援し、日本のカーボンニュートラル達成に貢献していきます。また、お客さまとともにインパクトと収益の創出による好循環を実現し、社会・環境課題の解決と企業価値向上を目指します。

なお、本商品のフレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の第三者意見書を取得しています。（※2）

龍森は、事業活動を展開するなかで、脱炭素化をはじめとするサステナビリティ課題に取り組んでいます。具体的には、グループ全体のGHG排出量を算定・可視化し、課題を明確化したうえで削減目標を設定し、グループ全体で目標達成に向けた行動を推進することで、環境負荷の低減を図っています。さらに、ステークホルダーとの連携を深め、地域社会との共生を図りながら、持続可能な事業活動の実現に向けて挑戦していきます。

〈みずほ〉は、ありたき将来の日本の産業構造“グランドデザイン”を描き、その実現に向けてお客さまの脱炭素化・トランジションを積極的に支援しています。〈みずほ〉の強みである「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ一体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦します。

<案件の概要>

融 資 先：龍森
貸 付 人：みずほ銀行
契 約 金 額：8億円
契 約 締 結 日：2026年9月28日
実 行 日：2026年9月30日
期 間：7.5年

※1：「GHG見える化インパクトファイナンス」の商品概要にかかるウェブサイト
<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/ghg/index.html>

※2：JCRのウェブサイト
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

【e-dashについて】

会 社 名	e-dash 株式会社
代 表 者	代表取締役 山崎 冬馬
所 在 地	〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目 8 番 18 赤坂 JEBL6 階
設 立	2022 年 2 月 7 日
事 業 内 容	CO ₂ 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営 サプライチェーンの ESG データ収集・分析・実行支援「e-dash Survey」の運営 カーボンフットプリント算定サービス「e-dash CFP」の開発・運営 カーボンクレジットのマーケットプレイス「e-dash Carbon Offset」の運営
U R L	https://e-dash.io/

以 上